

# 新着図書一覧



NDC	書名	著者	出版社
019.1	乱読のセレンディピテイ	外山滋比古	扶桑社
081	新釈漢文大系 109:白氏文集 十三		明治書院
210.5	不便ですてきな江戸の町	永井義男	柏書房
366.2	10年後の仕事図鑑	堀江貴文・落合陽一	SBクリエイティブ
366.3	世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか？	山口 周	光文社新書
470.4	雑草はなぜそこに生えているのか:弱さからの戦略	稲垣栄洋	ちくまプリマー新書
481.3	動物はいつから眠るようになったのか？	大島靖美	技術評論社
488.1	鳥！驚異の知能	J・アッカーマン	講談社ブルーバックス
491.3	学ぶ脳:ぼんやりこそ意味がある	虫明 元	岩波科学ライブラリー
493.1	内臓脂肪を最速に落とす	奥田昌子	幻冬舎新書
498.3	睡眠負債 朝日新書	NHK スペシャル	朝日新聞出版
498.3	スタンフォード式最高の睡眠	西野精治	サンマーク出版
498.3	パワーナップ仮眠法	坪田 聡	フォレスト出版
498.3	脳が突然冴えだす「瞬間」仮眠 SB新書	坪田 聡	SBクリエイティブ
723.3	ART GALLERY9:神話と物語		集英社
726.1	漫画版 日本の歴史〈全 10 巻〉	O先生、K先生のおすすめです！	集英社文庫
726.1	漫画版 世界の歴史〈全 10 巻〉		集英社文庫
809.2	日本人のための声がよくなる「舌力」のつくり方	篠原さなえ	講談社ブルーバックス
911.1	和歌文学大系45:古今和歌六帖(上)		明治書院
913.3	狭衣物語(下) 新潮古典集成		新潮社
913.6	5分後に意外な結末〈1〉赤い悪夢		学研プラス
913.6	5分後に意外な結末〈2〉青いミステリー		学研プラス
913.6	5分後に意外な結末〈3〉白い恐怖		学研プラス
913.6	5分後に意外な結末〈4〉黒いユーモア		学研プラス
913.6	5分後に意外な結末〈5〉黄色い喜悲劇		学研プラス
913.6	5秒後に意外な結末:ミノタウロスの青い迷宮		学研プラス
913.6	5分後に恋の結末:友情と恋愛を両立させる3つのルール		学研プラス
913.6	リーチ先生	原田マハ	集英社
913.6	魔力の胎動	東野圭吾	KADOKAWA
913.6	青空と逃げる	辻村深月	中央公論新社
913.6	スイート・ホーム	原田マハ	ポプラ社
B913.6	ブラックペアン1988	海堂 尊	講談社文庫
B913.6	浜村渚の計算ノート7:悪魔とポターージュ	青柳碧人	講談社文庫
B913.6	浜村渚の計算ノート8:虚数じかけの夏みかん	青柳碧人	講談社文庫

# 新着図書案内

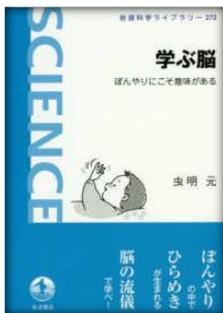
富山高校図書館  
2018年6月



そろそろ梅雨のうっとうしい季節に入りますが、雨音を聞きながらの読書もいいかも？  
図書館にはいろいろ新着本が入ってきています。「5分後」シリーズも入りました。  
5分後には意外な結末が待っています。気分転換に利用してください。



## 新着図書



ぼんやりの中でひらめきが生まれるらしいです。ぼんやりすることは実は脳にはとても大切な事。

『学ぶ脳』  
虫明元／著

脳では様々なネットワークが常に切り替わりながら活動している。何もしていない時にも、脳は活発に活動する。その活動は、脳全体を統合し、記憶や想像、自己の認識や他者の認知にも関係する。ぼんやりしている時に脳のネットワークは再構成され、そこに新たな気づきやひらめきが生まれる。より良い学び方を脳に学ぶ。



マナー守っていますか？

『脱! SNSのトラブル』  
佐藤佳弘／著

『脱 ネット・スマホ中毒』  
遠藤美季／著

たくさんの情報が集まり、どんどん更新されていくインターネット。スマートフォンの普及により利便性は向上し、いつでもどこでもアクセスできるようになりました。その結果、歩きながらスマホをいじり、カフェで友達と話しながらお互いスマホを眺めているような状況や、課金ガチャに数十万を注ぎ込みんだり、SNSで他人の動向をチェックしてしまうなど病的なスマホ・ネットの使い方も目立つようになってきています。



## 第64回青少年読書感想文コンクール課題図書



感想文は、  
課題図書選びから、  
始まっている。



『いのちは贈りもの』  
F・クリストフ／著  
6歳でホロコーストを生きのびたフランス人女性の手記。アンネと同じ収容所に移送された彼女の目に映ったものは。注目の邦訳。



『車いす犬ラッキー』  
小林照幸／著  
君はかけがえのない家族。美しい自然と、人々が支えあう「ユイ(結い)」の伝統が息づく島で、一人の男がめぐりあった“人生を変えた犬”。犬と人のドラマを通じて、命の意味を問う、感動のノンフィクション。



『わたしがいどんだ戦い 1939年』  
K・B・ブラッドリー／著  
一九三九年。二度目の世界大戦さなかのロンドン。足の悪いエイダは、けんめいに歩く練習をしていた。歩けさえすれば、弟といっしょに疎開できる！一自分らしく生きるために戦う少女と、彼女をあたたく包む村の人たちをえがく。二〇一六年のニューベリー賞次点作。シュナイダー・ファミリーブック賞受賞作。

お願い

手に返却遅れの本はありませんか？

読みたい人が待っています！！

閉館しているときは図書館前の

「返却ポスト」に入れてください。

